

令和5年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	北秋田市	代表者名	津谷 永光		
担当者部署	総務部	連絡先電話番号	0186-62-6606		
担当者役職	主査	担当者氏名	坂本 康彦	連絡先E-mail	*****
住所	018-3392 秋田県北秋田市花園町19番1号				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	岡村 久和
評価	よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	次回以降のリモートワーク・ワーケーション推進に係る実地講義の打ち合わせ・日程調整を行った。現在アドバイザーが研究している内容等にも関連させながら、当市職員に適切と考えられる研修内容を提案いただいた。
アドバイザーへの要望事項	特になし

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	期日・支援内容の変更あり	WEBでの手続き日	受付番号
	令和5年8月25日	事前打合せ（オンライン）	有	令和5年8月16日	855
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和5年9月1日	事前打合せ（オンライン）	10時00分	11時00分	
				活動時間（分）	60
3-2. 派遣場所	会場名	オンライン	最寄駅	オンライン	
	所在地	オンライン	最寄駅からの交通手段	オンライン	

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可	https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/
------	---------------------------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	市職員	2人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	市職員に、ICTを活用した関係人口創出を目的とするリモートワーク・ワーケーションへの取り組みの必要性が浸透していない。	
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	市職員がリモートワーク・ワーケーションの有効性について理解を深める。また、有効性を理解することにより、企業等への円滑なアプローチを可能にする。	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	民間の視点及び早期から国内でリモートワークを推進した経験から、メリットや活用方法などの講義内容を提案いただいた。市職員として、知識・経験とも不足している内容であるため、当市職員に適切であると思料された。	
支援を受け改善又は解決された内容（具体的にご記入下さい）	次回以降の講義内容を決定した。研修の進め方についても、ワークショップ形式を提案いただいた。	

具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)		
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
事業の最終的な目指す姿		

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。



